

## 「社会福祉士配置の取組」

### 1 市の概要（平成30年度）

人口	397,682 人
保護率	2.51 %

### 2 支援状況調査（H30年度）

新規相談受付件数人口10万人当たり(件)	一月当たり	32.5
プラン作成件数人口10万人当たり(件)	一月当たり	13.0
就労支援対象者数人口10万人当たり(件)	一月当たり	7.0
就労・増収率(%)		58.6

### 3 実施方法について

実施方法	委託（被保護者就労準備支援として実施） （単年度契約/公募型プロポーザルによる随意契約）
事業費	委託料：約300万円
課題・対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談者の中には発達障害や高次能機能障害、知的障害の疑いがあるが、医療受診や障害受容に至っていないケースがあり、障害福祉分野の専門員による支援メニューが必要となっていた。</li> <li>障害者への就労支援と就労困難者への就労支援については、共通した部分と、専門性が求められる部分とがある。</li> </ul>
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害者総合支援法に基づく就労継続支援B型事業に社会福祉士1名を配置し、当該事業所における事務補助や内職作業、施設外支援で利用する段ボール工場での作業などで、集団を通しての対人関係の築き方を学んだり、自己肯定感を高め、社会生活自立に向けての支援を実施。</li> <li>就労準備支援担当者と当該事業所の社会福祉士等が連携し、障害疑いのある利用者の場合は障害受容を促して障害手帳を取得して福祉制度につなげたり、医療的なケアが必要かを見極めていくなど、必要なサービス、機関へ繋ぐ。</li> <li>ひきこもりや、離職後のブランクが長く体力や対人関係に不安のある利用者についても、専門職員が配置され安心できる環境下で社会参加を支援。</li> </ul>

### 4 事業実績（H30年度）

就労準備実績	利用者	就職者	福祉就労へのつなぎ	支援継続
生活困窮者	7人	2人	3人	2人
被保護者	8人	4人	2人	2人

### 5 事業実施ポイント ～障害者と共に働くことで、自分自身と向き合う～

#### Point

- 段ボール加工作業、コインパーキング清掃、施設清掃、粗品タオル折内職、絵画制作など、就労継続支援B型で行っている多様な業務を切出して経験することができる。
- 支援員や他の様々な特性をもった施設利用者等と協力して行う作業が多く、コミュニケーション能力を少しずつ高めていくことができる。



### 6 取り組んで良かったこと

- ・ブランクが長く就労に対して消極的だった相談者が、実習を通じて意欲が向上し、就職活動を開始して求人採用となった。
- ・障害者手帳取得に繋がり、今後の働き方（障害者雇用枠での一般就労等）を考えていききっかけとなった。
- ・人間関係に不安を抱えた相談者も、福祉専門職が配置されている安心できる環境下で社会参加ができ、精神的安定を得られた。生活リズム改善に繋がった。